

令和 5 年度 倉敷市地域福祉基金助成事業実施アンケート

助成期間: 53年度～54年度

団体名: お山の会okayama

一年活動をしての感想

※参加者に喜んでもらったこと、地域福祉基金からの助成がこういったことに生きていることなどを自由に記載してください。

(記載例)

①実施した内容

・子育て世代の社会的孤立を防ぎ、親だけでなく周りの様々な人々が育児の担い手となり、互いに支え合って見合い育て合うために、自主保育を行いました。自主保育では、参加者の要望を主として、自然の中でのびのびと過ごしたり、制作やダンス、料理をしたりするなど、家庭だけではできない体験活動を多く取り入れるようにしました。

②参加者の感想

・参加者の方から「下の子が産まれて、動き回りたい上の子どもを満足させるように遊びに行くことができなくなった。自主保育でみんなに見守られながら、たくさん自然の中で外遊びをすることができて親子共にとても助かった。」という言葉いただきました。

・また「引っ越してきてから初めての子育てで、周りに親戚や友達もおらず、とても苦しかった。みんなの親、みんなの子どもとして互いに見合って子育てすることができて、頼れる家族ができた。毎週同じメンバーで会うので、子どもも大人も慣れて、自分を出すことができた。」という言葉もいただきました。

・さらに「預け合って子育てをすることで、自分の時間をもつことができて育児にゆとりができた。自分が知らない子どもの面を教えてもらうこともできて、子どもを一方向からでなく、多面的に見ることもできてうれしかった。」という言葉もいただきました。

③地域福祉基金の有用性

・本来なら昼食を用意することができずに、各自弁当持参をお願いしないといけなかったが、地域福祉基金助成金のおかげで、参加者が昼食を準備する負担をなくすことができました。安心安全な食材を使って、旬を大切に栄養バランスの整ったお弁当は、子どもの食育にも大変役立てることができました。

④今後の展開・夢・課題など

・今後は、地域の方とのつながりをさらに広げていくことができる活動を計画していきたいです。

※このアンケートは、地域福祉基金の助成を受けたことのある団体から、事業開始後5か年度の期間